

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 森 祐樹
所属 (School) 工学研究科 機械系専攻
学年 (Grade) M2

留学先 (Name of overseas institution)
インド工科大学 マドラス校
留学期間 (study abroad period)
2017年12月8日~2017年12月14日

記入日 (Date) 12月18日

留学レポート Study Abroad Report

2017年12月10日~13日にインド工科大学 マドラス校で開催された国際学会 (6th ASIAN SYMPOSIUM ON COMPUTATIONAL HEAT TRANSFER AND FLUID FLOW) に参加しました。学会にただ参加し、発表するだけではなく、国際学会という貴重な機会を活かしたいと思い、他の海外の研究者がどのような研究をしているのか、また、自分たちの研究との相違点や共通点などを知るために1日早くインドに入り、開催校の研究室を見学し、研究室の学生と交流をしました。



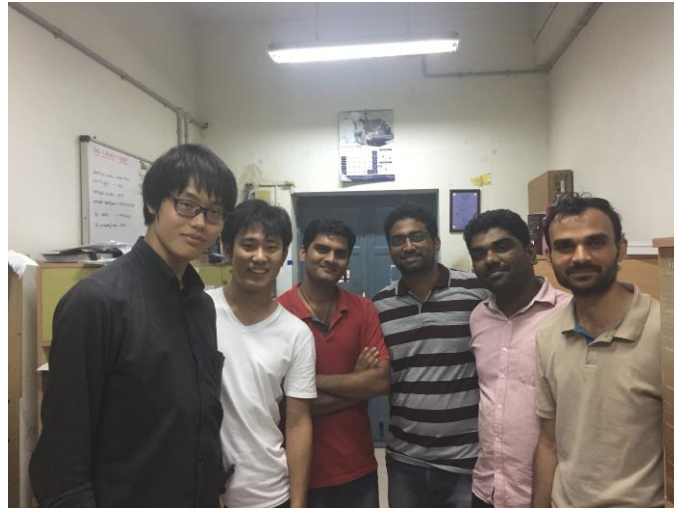
➤ 学会までの準備

今回の学会は発表形式が口頭発表 (発表 10 分、質疑応答 3 分) でした。そのため渡航の2か月前からプレゼンのスライド、発表原稿を作成し、練習を繰り返し行い準備をしました。また、1か月前には大学の英語プレゼンテーション研修に応募し、外国人の講師に発表の仕方、発音、スライドの作り方を教わり、プレゼンを改善していきました。私がスライドづくりで一番苦労した点は、英語が日本語とは違ってどうしても文字数が多くなってしまい、スライドに収まらなくなってしまうところでした。そのため、文字の代わりに図を多く活用したり、別の英単語に置き換えたりし、見やすいスライドを心がけました。

渡航先がインドということもあり、在インド日本国大使館が推奨している予防接種 (A 型肝炎、腸チフス、麻疹) を接種しました。一部の予防接種は、三回接種しないといけないものもあり、6月から接種しました。もちろん 10 割負担でしたので、学生の私にはなかなか痛い出費でした。

➤ 研究室見学

開催校であるインド工科大学 マドラス校の熱流体の研究室を見学しました。同じ分野を研究しているということもあり私たちの研究室にあるような実験装置があり親近感が湧いた一方、その研究室が扱っているテーマの広さに驚きました。ナノスケールから台風のシミュレーションという大きいスケールまで様々なテーマを研究されていました。また、研究室にいる大半の学生が博士課程の学生ということにも驚きました。実際に学生と交流し、自分たちの研究の問題点や研究している時のつらさ・嬉しさなどの話題で盛り上がったのは印象的でした。他にも普段彼らが研究で煮詰まった時に行くカフェテリアに連れて行ってもらい、そこで学生によく飲まれているバナナジュースを頂きました。そこでは彼らからこういう休憩中によく政治の話をするということを知り、インドでは若い人でも政治にとっても興味があるということを知り、日本とは違う文化を体験できました。最後には研究室を案内して頂いた学生と友人になりました。学会直前にも関わらず気軽に見学させて頂けたことに非常に感謝しています。



➤ 発表

初めての国際学会参加ということで、雰囲気はわからず緊張して会場につきました。1日の流れは、午前の部に基調講演があり、午後からそれぞれの部屋に分かれて個々の発表がありました。私は、1日目のセッション2で発表をしました。実際に発表しているとあっという間に終わりました。しかし、質疑応答では、予想していなかった質問ばかりで上手く説明することができずでしたが、自分の知っている知識を振り絞って、ベストを尽くしたと思います。頑張った甲斐もあり、学会の終わりには、BPA賞第2位を頂くことができました。また、自分の発表以外にも他の方の発表を聞くことで、世界でどのような研究が行われているかを知ることができ、非常に良い経験になりました。



➤ 最後に

5日間という短い期間でしたが、初めての国際学会を無事に終わられただけではなく、他の海外の研究、インドの文化・学生の雰囲気を直に感じることができ、非常に良い経験になりました。事前準備など学会まで行くまでの過程は大変でしたが、その分得るものも多くあり、今後の研究のモチベーションにつながりました。皆さんもこのような機会があればぜひ挑戦していただきたいです。絶対に自分を成長させることができると思います。最後にこのような貴重な機会を与えてくださった先生方、国際学会 PLUS 制度に深く感謝いたします。